

友の会 会報第2号

1. 設立初年度活発な活動が展開されました。

2010年度は、年度末の3月に東日本大震災が発生し、宮城県内各地で未曾有の被害がありました。被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げますと共に一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

3月20日サトルサトウアートミュージアム友の会が設立され、初年度の事業を終了しました。

昨年度は登米アートトリエンナーレ 2010 が開催され、友の会が主体的に支援し活発な活動が展開されました。

また、初年度研修としてトリエンナーレクライマックスバスツアーを開催し、トリエンナーレ作品と幾何学アートを楽しみながら会員交流が図られました。

Satoru Sato Art Museum 公式ホームページの充実も図られ、2010年度はミュージアム来館者が飛躍的にのび初年度計画を達成することができました。

2. 2011年度事業計画

本年度はミュージアムを舞台に幾何学アートの普及活動に努めるとともに、心のケアを配慮したワークショップを通して震災復興に貢献する活動を進める計画です。

また、ミュージアムの魅力を広く伝えるミュージアムボランティアガイドの養成講座・大人の絵画教室を開催する予定ですので、どうぞご参加下さい。開催日については、Satoru Sato Art Museum 公式ホームページをご覧ください。

3. 会費納入のお願い

会費納入時期 7月30日(土)迄にお願い致します。

ゆうちょ銀行 口座記号 02250-2-117045 口座名義 サトルミュージアム友の会

2011年度 会費 500円

法人・賛助会費 5000円



Satoru Sato Art Museum 友の会

〒987-0602

宮城県登米市中田町上沼字館 43

Satoru Sato Art Museum 内

TEL:0220-34-8083

FAX:0220-34-8084

<http://www.satorusato-artmuseum.jp/>

Email:tome.arttri@gmail.com

ご報告

震災の影響により、6月10日(金)に開催された役員会をもって総会にかえさせていただきました。

役員会では、2010年度の事業報告と決算報告・2011年度の事業計画と予算が満場一致で決議されました。

—会員数—

正会員 243名

賛助会員 21名

4. 常設—企画展「習作・幾何学構成から間の空間・そして鉛直主義へ」



1970年代に制作された、習作・幾何学構成から「間」の空間を意識した作品を中心に、12年にわたって制作された鉛直主義へ向かうサトル作品の変遷をご覧ください。

1970年制作の作品 1点

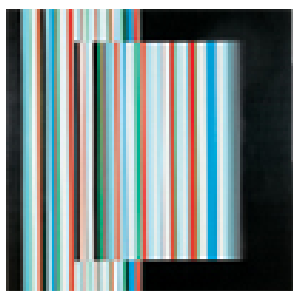
1972年制作の作品 3点

1974年制作の作品 3点

1976年制作の作品 2点

1977年制作の作品 2点

1981年制作の作品 1点



S-507
無題 No Title
1974年
キャンバスにアクリル絵の具
150cm×150cm



S-043
習作 Study
1972年
キャンバスに油彩
61cm×46cm

* ご参加下さい *

夏川ポン・デサール 芸術橋 '95
清掃作業

とき:2011年8月7日(日)
午前6:00~8:00

ところ:登米市中田町石森
夏川ポン・デザール芸術橋

持参物:草刈かま・ほうきなど

* ご案内 *

佐藤達 絵画教室

日程は変更あり。HPでご確認下さい。

とき:(予定)2011年7月30日(土)
午前9:00~12:00

ところ:Satoru Sato Art Museum
(中田生涯学習センター)

参加費:無料

持ち物:筆記用具・絵具・クレヨン等

申込み:7/28(木)まで事務局へ

5. 企画展—企画展「垂直と水平展」



今回の企画展は、ミュージアムがコレクションする作品の中から、特に、直線を感じさせる色と形、直線を基本に水平線、垂直線で制作された作品 23 点(展示室1に 13 点・展示室3に 10 点)を展示いたしました。

中でも、ピエト・モンドリアン(1872~1944)(展示室3)は、カンディンスキーとともに現代抽象絵画への道を切り開いたオランダの巨匠といわれる画家です。表現主義の流れをくむカンディンスキーの「熱い抽象」とはまったく対照的で、「冷たい抽象」と呼ばれています。初期のころの風景画等を描いていた自然主義から、自然の本質に迫るため色彩や形態を単純化するようになり抽象主義の芸術運動を繰り広げ抽象主義へと移行していきました。その中でモンドリアン・スタイルとして親しまれている垂直・水平線と三原色の色面からなる幾何学的抽象画のスタイルを確立しました。

美術の教科書にも登場するピエト・モンドリアンの作品とその傾向の作品を通じ、難しいといわれる幾何学抽象構成絵画を身近に感じていただきたいと思います。



E-156
ピエト・モンドリアン
赤・黄・青の構成
1957年
紙にシルクスクリーン
61×44cm

ピエト・モンドリアン(本名ピーテル・コルネリス・モンドリアーン 1872年-1944年)はオランダ出身の画家である。本格的な抽象絵画を描いた最初期の画家とされる。

6. 記録集『登米アートトリエンナーレ 2010』のご案内



理想郷・幾何学構成アートの祭典 記録集「登米アートトリエンナーレ2010」

A5版 128ページ

発行 登米アートトリエンナーレ実行委員会

Contents<目次>

- ・ 展示作品
- ・ プレイベント
- ・ イベント
- ・ 関連イベント
- ・ 寄稿文・座談会ほか
- ・ 作家略歴

—登米アートトリエンナーレ2010記録集—

東京都立大学名誉教授 西川 直子

今回発刊された「登米アートトリエンナーレ2010」は単なる記録集ではありません。前半は図録ながらアート作品がカラーページで紹介され、後半は市民の熱い思いが伝わってくる内容構成となっています。

アートイベントにふさわしいデザイン、写真も多く使われているのも特徴です。登米市のボランティアサポーターの生の声が溢れ、報告書としてよくある「いいとこどり」の記録集ではなく、反省・改善すべき点も多く掲載されているのも評価すべき点だと思われます。市民協働事業の成功事例のひとつとしてぜひ一読をお勧めしたい本です。

—発刊によせて—

登米市立迫図書館長 泉 敏彦

登米アートトリエンナーレによって、地域住民とアーティストとの協働によるアート作品を通じた地域づくりが進められました。

市民の生涯学習の場、未来を担う子供たちの芸術的感性を向上させる場として、また地域資源・地域特性を活かした文化コミュニティの創造をねらいとして、その効果は多大であったものと感じました。

その集大成である記録集をご覧になっていただくことで、その歩みが垣間見れるものと思います。推薦の一冊です。

【お申込み方法】 *数に限りがありますのでお早めにお申込みください。

1. 頒価 1冊 1,000円(952円+消費税)
2. 送料 サトルサトウアートミュージアム友の会会員は無料
3. 払込先(郵便局)

名称 サトルミュージアム友の会
振替口座 02250-2-117045

ア) 払込用紙に、住所・氏名・郵便番号・電話番号を楷書で
はっきりとご記入下さい。

イ) 通信欄に「記録集 ○冊希望」とご記入下さい。

4. お届け日数について

発送はお申込み確認後、順次行いますが、郵便事情等により2~3週間程度かかります。

<払込例>

	本代	送料	合計
1冊	1,000	200	1,000
2冊	2,000	300	2,000
3冊	3,000	400	3,000
4冊	4,000	500	4,000
5冊	5,000	0	5,000

編集後記

3月11日東日本大震災は、まさに昨年開催された登米アートトリエンナーレ2010記録集の最終打合せ前日で、やっと一息つけると思った矢先の災害でした。4月中旬業務再会できたものの、紙調達が難しかったりさまざまな困難を乗り越えて発刊しました。ミュージアム作品も幸いに被害なく5月に観覧再開。皆様のあたたかなご支援やご協力に感謝しながら2011年度事業をスタートしました。今年度もどうぞよろしく願いいたします。(事務局 千葉)